

# ターントクルこども館 運営計画

## 1. ターントクルこども館基本構想

平成 29 年度に策定した整備基本構想に基づく 6 つのコンセプトにより整備する。

- ①「集い・遊び・学び」を実現する子育て支援拠点の整備
- ②公共施設初の子どもの創造性を育むおもちゃと絵本の一体的な施設整備
- ③市民と共につくり、支える、市民協働型運営体制の構築
- ④地域を繋ぐ多世代交流拠点・連携拠点の整備
- ⑤静岡県を代表する木育拠点の整備
- ⑥市外からの交流人口を増やすにぎわい創出拠点の整備

## 2. 施設概要について

メイン機能として「焼津おもちゃ美術館」及び「えほんと（こども図書館）」を、その他機能として「ミュージアムショップ（丸一家具センター）」、「カフェスペース（丸玉園）」、「屋外広場」を整備。

## 3. 施設管理運営体制について

管理運営形態としては、民間の運営能力や経営ノウハウの活用、より高いサービス提供などが期待される「公設民営」方式のうち、「指定管理者制度」が望ましいが、従来の指定管理者制度による施設運営手法によるものではなく、地域住民が当事者意識を持って運営する新しい公共施設の形を作り上げていくことを目標とする。

したがって、開館時から当面は、市の直営とし、「市民協働型の運営体制」を実現するため、市民人材の育成を図るとともに、この人材による法人の設立を支援していく。

おおむね 3 年後には、当該法人が指定管理者となり、将来にわたって、管理・運営を担っていく姿を目指していく。

## 4. 施設運営について

### ①開館時間

えほんと（こども図書館）	9 時～19 時（9 時～12 時 30 分、13 時～16 時 30 分）
焼津おもちゃ美術館	10 時～16 時（10 時～12 時 30 分、13 時 30 分～16 時）
ミュージアムショップ （丸一家具センター）	10 時～18 時
カフェスペース（丸玉園）	9 時～18 時

※コロナ対策として当面はカッコ内の時間で運営

## ②休館日

- ・水曜日（水曜日が祝日の場合は開館し、翌平日が休館）
- ・年末年始

## ③やいづおもちゃ美術館 入館料

区分	市内	市外
未就学児（1歳未満）	無料	無料
未就学児（1歳以上）	無料	500円
小学生（保護者と入館する場合）※1	無料	500円
小学生（1人で入館する場合）※2	100円	500円
中学生・高校生・シニア（65歳以上）	200円	700円
大人	500円	1000円

平日パスポート・団体割引などの特別料金も設定

※1…小学生（市内）の入館の場合は、保護者1人につき小学生1人無料

※2…小学3年生以下は、保護者の同伴が必要

## ④駐車場

ターントクルこども館駐車場（P1）、市営小石川駐車場（P2）、アンビ・アパーク駐車場（P3）を確保。こども館利用者は最初の2時間は無料とする。

## 5. 地域団体との連携や専門団体との連携について

- ・静岡福祉大学と協議し、協働でプログラム開発を行い、開館後も地域の子育て支援・交流拠点としての質の向上を図る。
- ・焼津市立図書館や他の市等の公立図書館との連携をはじめ、全国のこども図書館や絵本図書館との連携を行う。
- ・外部団体との連携として、自治会や商店街、専門性を持った民間企業との連携を図る。

## 6. 新型コロナウイルス対策

### ①事前予約制

- ・館内での密を防ぐため、当面の間は事前予約制とし、午前・午後の部で各回定員300人。
- ・申し込みは、ネット予約もしくは窓口予約。

### ②消毒の徹底

- ・入館時の検温・手指消毒の徹底。
- ・午前・午後各部終了時に、おもちゃ等の消毒を行う。
- ・オゾン発生器や本の除菌ボックスを使用し、消毒を行う。

## 7. こども館ととまとぴあの連携について

- ①とまとぴあの「体を使った遊び」、こども館の「学び」の2つの機能を設け、機能面での充実を図る。
- ②焼津地区と大井川地区に幅広い世代が利用できる「子育て支援拠点」を整備し、市全体で子育てに取り組む。